

大崎町地域計画協議内容

地域名	横瀬地域 持留川土地改良区地区	協議回数	第1回目
協議日	令和6年9月17日	場所	農業共済組合大崎連絡所
参加者	持留川土地改良区地区・横瀬地域の担い手農家他 11名		
関係機関	大崎町（農林振興課・農業委員会） 曾於畑地かんがい農業推進センター 農業普及課		
協 議 内 容			
<p>町の職員より地域計画の概要について説明。その後、地域の現状を説明し、地域における農業の将来の在り方などについて各課題の協議を行う。協議結果については公表資料のとおり。</p> <p>次に地図を見ながら農地の利用状況について確認し、目標地図の作成を行う。持留川土地改良区地区、横瀬地域においては延べ74名の担い手農業者がいるが、そのうち延べ20名が10年以内に離農を考えているとの意向調査結果がでている。それに加え、現在は自作の方で今後は誰かに作ってもらいたいという意向の方が数名いらっしゃるため、今後空いてくる農地を今後は誰が作っていくかの協議を行うが、土地の所有者の意向・次期耕作者の意向もあるため、本日来ているメンバーだけでは次の耕作者は決め難い。目標地図の耕作者が設定できない農地については一旦保留とし、今後、本地域で規模拡大を考えてる担い手農家等を中心に、目標地図を見ながら耕作面積の拡大について検討する材料とするということとした。</p> <p>また、参加者から持留川土地改良区地区の一部において、基盤整備事業の要望は出しているが、順番等の問題から実施まで10年～15年ばかりそうであるとのこと。それまでに地区内の担い手農家がどれくらい残っているか分からない中で、水が届かない圃場である山側から耕作放棄地が広がってきており、獣害も多くなってきているため、圃場の大規模化、畑地化、品目毎の区分け等の方向性を協議する必要があるという意見が出た。</p> <p>その後、本日の内容をホームページ等で公表する旨を説明し、協議を終了する。</p>			